

政務活動視察報告書

2026 年 7 月 1 日

八女市議会議員 森茂生

視察日程 2026 年 6 月 22 日～25 日

1, 福島県東白川郡矢祭町大字東館字石田 25

研修内容 ・ 矢祭町「もったいない図書館」

担当者・館長 緑川 宏子

国は地方分権改革に伴い 1999 年から 2010 年にかけて市町村合併を推進した、いわゆる「平成の大合併」である。矢祭町は 2001 年 10 月 31 日「合併しない宣言」を決議した。町臨時議会で全会一致だったようだ。当時の根本良一町長が国策に反旗を翻したのだ。そのため国から相当圧力をかけられたような報道があった記憶がある。

根本町長は緊縮財政を推進した。職員を 80 人から 50 人程度にまで減らした。2008 年、町議員定数は 18 人から 10 人に減らし、全国初となる「日当制」（1 日当たり 3 万円）を導入した。しかし、議員のなり手不足から、2024 年「日当制」から一般的な「月額制」（208,000 円）に戻すことになる。

緊縮財政の象徴的事例が全国から本の寄贈を募って新設した「もったいない図書館」だ。

2005 年、町民アンケートでは、町にない図書館の開設を求める声が多く寄せられた。財源不足に悩む町が取った手立てが、3 万冊を目標として全国に本の寄贈を呼びかけるものでした。送料は寄贈者負担という条件であった。この呼びかけに対して、約 40 万冊もの本が集まったということだ。

老朽化した武道館を改修して 2007 年図書館を開館した。訪問して感じたのは「もっと古めかしいのかと思っていたがほとんど新築のように綺麗な図書館でした」

寄贈してもらった本だけで開館した例は全国でも珍しいのでは。会館準備には司書資格をもつ町民 40 名以上が半年間ボランティアで参加して図書の整理などに取り組んだということだ。

現在のもったいない図書館

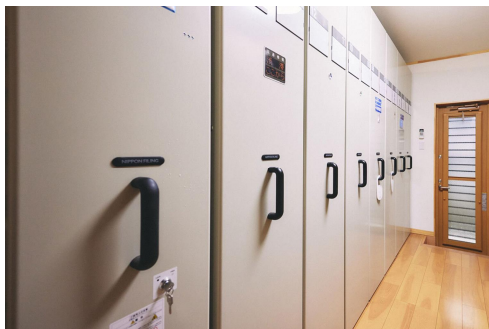


書庫にあるフリースペース



現在の蔵書は 48 万冊というビックリする数だ。書庫を見学したが新築した建物で、空調設備も整い近代的な書庫に感心しました。

(もったいない図書館書庫のイメージ)



毎月第 3 日曜日を「読書の日」と定め地区公民館への図書配布など読書推進に力をいれる。住民が力を合わせれば、お金がなくても図書館はできると強調されました。人口減少は避けられないが、20 年前は約 7,000 人だったが、現在は約 5,000 人です。しかし、合併していたら、東北地方、福島県の最南端の山間部のため、おそらくもっと減少していたと思われる。

町役場は、現在も年末年始も含めて年中無休で住民票や各種証明書の発行や税金の業務など行っている。